

歯科衛生士が知っておきたい歯科
保険診療の仕組みがわかります！



歯科衛生士のための

歯科診療報酬入門 2018-2019

公益社団法人日本歯科衛生士会 監修/鳥山佳則・
石井拓男・武井典子・金澤紀子・吉田直美 編集

B5判/262頁 定価 3,996円：本体 3,700円＋税
医歯薬出版（2018年5月）

米山歯科クリニック
評・米山武義（歯科医師）



歯科医療の将来は精度の高い齲蝕の予防，全身疾患の予防まで見据えた歯周治療，そしてサポータティブペリオドンタルセラピー（SPT）と在宅医療の展開であろうと考える。これらのすべては歯科衛生士が活躍する場である。

超高齢社会のわが国において，以上のような歯科衛生士に対するさまざまな期待や歯科保険診療における歯科衛生士業務のウエイトが増えている。そうしたなか，歯科衛生士が歯科診療の基礎と診療報酬を理解したうえで，体系的に業務を行うことができれば歯科医師はもとより患者さんにも大きな恩恵がもたらされる。

本書は今回（平成30年度）の改定に合わせて年度版として発行され，画期的な良書に仕上げられた。何が画期的なのか，ポイントを下記にまとめる。

1. 厚生労働省での診療報酬改定の実務経験者を擁する執筆陣
2. 近年，診療報酬改定のたびに歯科衛生士の評価が非常に高まっていることから，歯科衛生士の業務を中心に解説したはじめての書籍
3. 歯科点数表（診療報酬）について，まったく知識のない人を想定し，歯科点数表全体のルールをやさしく，ポイントを絞って解説
4. 全国のレセプトデータをもとに高頻度の項目など必要かつ最小限の項目に厳選
5. 歯科衛生士に関係が深い項目をていねいに解説
6. 事例を本書の後半に載せ，各分野に精通した歯科衛生士がくわしく解説
7. 研修歯科医師や若手歯科医師にも適した平易な内容

本書は以上の特徴を有し，前半に診療報酬を基礎から解説し，後半は「歯科治療—歯科衛生士業務—算定内容」のつながりをわかりやすく示した事例集という構成である。また，巻末の関係法令等の項に「歯周病の診断と治療に関する基本的な考え方」が記載されている。ここには歯周病に関する定義，治療内容および用語に対する解説が記載され，短時間で歯周治療体系がわかるように配慮されている。この点について個人的に非常に感動した。また高齢者と有病者の歯周治療まで取り上げた先生方の見識の高さに驚いた。

歯科診療報酬は医療機関の経営にとってもっとも重要な柱であり，近年，歯科衛生士を評価した項目が年々増加していることから，歯科衛生士とともに歯科点数表を理解することが必須になってきた。本書はまさに歯科医療の現場を支え，安心して歯科衛生士の業務を推進するためのバイブルになると確信する。